

2014年8月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

2014年9月9日
在ドミニカ共和国日本国大使館

1. 内政

(1) メディーナ大統領就任2周年

16日、メディーナ大統領は、任期前半の2年を高い支持率で終えた。この1年の成果としては、就任以来継続している教育改革と中小零細農家支援の他、違法移民正常化計画の実施及び帰化法制定施行等がある。

(2) 国会

16日、上院は議長他執行部の改選が行われ、クリスティーナ・リサルド上院議員がレイナルド・パレ・ペレス前上院議長に替わり議長に選出された。当国史上初めての女性上院議長となった。また、下院は、アベル・マルティネス下院議長が5期連続で再選された。

(3) 国防大臣の交代

18日、メディーナ大統領は、大統領令300-14を発出してシグフリッド・パレ・ペレス国防大臣に替わり、マキシミリアン・ムニョス国家捜査局(DNI)長官を新たな国防大臣に任命した。パレ・ペレス前国防大臣は、DNI長官に任命された。

(4) ロマ・ミランダ鉱山

27日、上院は、ロマ・ミランダ地域を国立公園に指定する法案を可決し、28日大統領府へ送付した。国立公園に指定されると、同鉱山からフェロニッケル採掘を目的として土地を所有しているファルコンブリッジ社を始めとする土地所有者への賠償金として40億米ドル相当を支払う必要があるとされた。9月2日、メディーナ大統領は、上院へ法律の差し戻しを決定。

(5) 帰化法関係

24日、ロサリオ中央選挙委員会委員長は、出生登録されていた外国人1,400名以上の審査を終えたところ、107名が文書改竄等を行っていることが発覚し、司法機関へ通知したと発表した。

(6) 教育

ア. 14日、アマランテ教育大臣は、本年新学期から全日制教育を始める教育施設が622校から1,716校へ増加し、81万4千人の生徒が対象になると発表した。

イ. 15日、アマランテ教育大臣は、この2年間で1,474億4,600万ペソ(約34億2,900万米ドル)投資で、2,100の学校を新たに建設し、6,207教室増やしたと発表した。

(7) 公共投資

ア. 17日、カステージョ公共事業・通信大臣は、この2年間で学校、高速道路等の建設を行い、現在も多くのプロジェクトが進行していると述べた。完了した代表的なプロジェクトとして東部観光道路の開通、サンチアゴ市環状道路の開通を挙げた。

イ. 20日、公共事業・通信省は、Uvero Alto と Miches（東部地方）間の112.8キロを結ぶ道路建設プロジェクトのうち53キロの供与を開始したと発表した。このプロジェクトに2億6,530万米ドル投資を行っている。

（8）防犯・緊急事態対応911国家システム

18日、クエジヨ大統領府次官は、防犯・緊急事態対応911国家システムを開始して11週間で4万4,822件に対応し、利用者の91%がサービスに満足していると述べた。

（9）治安関係

ア. 11日、国家捜査局（DNI）と検察局資金洗浄対策部は、麻薬密輸・資金洗浄組織を解体し、合計でマンション42部屋を押収したと発表した。組織は、スペインのバルセロナをベースとしてヨーロッパ、特にイタリアへ麻薬を輸出し、売上金を2重底のスーツケースでドミニカ共和国へ運搬していた。

イ. 18日、サン・ペドロ・デ・マコリス市の住民が、毎日12時間も継続する停電と高額な電力料金に対して抗議デモを行った。タイヤを燃やす、ゴミを道路に撒き散らすなどが確認された。

ウ. 22日、麻薬取締局（DNCD）は、ベルギー経由オランダへ輸出される予定であったパイナップルを積んだコンテナから54袋の薬物を押収し関係者5名を聴取、また、ラス・アメリカス空港においては、日本郵船のコンテナに積み込まれる予定であった瓶から薬物が確認されたことから押収したと発表した。

エ. 24日、麻薬取締局（DNCD）は、ベルギーのブリュッセルからアルタグラシア県（東部）プンタカナ空港に到着した21歳のドミニカ（共）国籍女性が、現金20万ユーロを隠し持っていたことから資金洗浄の疑いで逮捕した。

オ. 26日、民主主義と開発のためのグローバル財団（FUNGLODE、フェルナンデス前大統領創設）は、2014年上半期の抗議デモ回数をまとめたところ、デモは平均毎日2件発生し、首都圏では112件確認されたと発表した。

カ. 26日ー27日、ロマ・ミランダ地域の国立公園指定に賛成するグループが、シバオ地域（北部）においてデモを行い警察官隊と衝突し、1名死亡5名が負傷した。

2. 外交

（1）コロンビア大統領就任式

6日から7日、メディーナ大統領は、サントス・コロンビア大統領の就任式に出席するためにボゴタを訪問した。

（2）参議院 ODA 調査団の訪問

23日から25日、中西祐介参議院議員を団長とする参議院 ODA 調査団が、当国を訪問しプエルトプラタ県アルタミラ市や首都圏において日本が支援したプロジェクト関係者及び学校等を視察した。また、メディーナ大統領を表敬し安倍晋三首相の親書を手交、日本・ドミニカ（共）友好議連並びに全国市町村連合会と懇談を行った。

（3）Dubai Trade 社の訪問

25日、Dubai Trade 社の代表団が、当国を訪問し陸・海・空を結ぶロジスティックセンター建設に関心がある旨表明した。大統領府において行われた会談には、モンタル

ボ大統領府大臣、カスティージョ商工大臣、リサルド財務大臣、モンタス経済企画開発大臣、ロハス環境資源大臣、フェルナンデス税関局長、ロドリゲス・ドミニカ輸出投資センター長官等が出席した。また、29日、代表団はメディーナ大統領を表敬し今回の訪問成果を報告した。

3. 経済

(1) 国内の経済活動

ア. 10日、商業銀行協会は、2009年から2013年の間に融資残高が2,642億1,470万ペソ（約61億4,450万米ドル）増加したと発表した。この間に増加した主な分野は、製造業分野が30%増、サービス業が28%増、住宅ローンが18%増であった。

イ. 14日、ペラルタ大統領府官房大臣は、メディーナ大統領就任から2年間に農業分野に16.5%増の600億ペソ（約14億米ドル）の投資を行ったと述べた。大統領が行う毎週末の地方訪問により、これまで14万人が裨益する145のプロジェクトに融資を行った。

ウ. 18日、経済企画開発省は、「2014年-2018年マクロ経済見通し」を発表し、GDP成長率は2014年4.5%、2015年から2018年までは毎年5%、インフレ率は2014年4.5%、2015年から2018年までは毎年4%と見通した。対米ドル為替レートは、2014年末44.40ペソ、2015年末46.40ペソ、2016年末48.25ペソ、2017年末50.18ペソ、2018年末52.19ペソを見込む。

エ. 19日、カスティージョ商工大臣は、メディーナ大統領就任から2年間に1,000以上の中小企業に対して融資を行い現在の融資残高は30億ペソ（約7,000万米ドル）であると述べた。

オ. 19日、経済企画開発省は、2014年上半期の公共投資額は230億1,300万ペソ（約5億3,500万米ドル）、予算執行率は30.85%と発表した。

カ. 21日、中央銀行は、国際通貨基金の支援を得て実質経済成長率を計算する基準年を1991年から2007年へ変更し、新基準年による2008年から2014年6月までの経済成長率を発表した。右によると、2014年上半期の経済成長率は7.2%となった。

キ. 24日、経済企画開発省は、2013年3月から2014年3月までの1年間で所得の再配分により貧困層が4.3%減少し、人口に占める貧困層は40.5%から36.2%になったと発表した。

ク. 28日、バルデス中銀総裁は、累積損失を賄うために過去7年間で財務省から総額1,323億6,220万ペソ（約30億7,800万米ドル）の資本投入を得たと発表した。

ケ. 31日、中央銀行は金融政策会合を開き、政策金利を6.25%へ据え置くことを決めた。昨年8月に政策金利を4.25%から6.25%に変更して以来変動していない。本年1月からの7月までの累積インフレ率は1.93%、年間インフレ率は3.41%と、中銀の本年のインフレ目標値4.5%±1%に収まっている。

(2) 負債の影響

14日、世界銀行の3名の専門家は、現状のまま当国の債務額が増加する場合、経済成長を阻害する事になりかねず、マクロ経済のボラティリティーが大きくなり、延いては財政危機を引き起こす恐れがあると警鐘を鳴らした。中央銀行が抱える債務額も合わ

せると当国の債務額は、GDPの47%相当になる。

(3) 航空

1日、スペイン・イベリア航空は、1年5ヶ月振りにサントドミンゴーマドリッド間の定期就航を再開した。

(4) 観光

ア. 6日、ガルシア観光大臣は、本年10月18日から26日にかけて当国サンチアゴゴ（北部）において当国初のエコツーリズムフェアを行うと発表した。十数カ国が参加し会期中毎日4万人程度の参加を見込んでいる。

イ. 10日、ガルシア観光大臣は、7月の訪問観光客数が前年同月比9.4%増（44,374人増加）の51万4,615人であったと述べた。また、本年1月から7月までの訪問観光客数は前年同期比8.6%となったとも述べた。

ウ. 14日、ガルシア観光大臣は、メディーナ大統領就任からの2年間は、2010年ー2012年の2年間と比較して、観光収入が17.5%増加の100億米ドルであったと述べた。

エ. 27日、メディーナ大統領出席の下、JW Marriott ホテルの開業式が行われた。総工費5,500万米ドルかけてカリブ海で初めて開業した当ホテルは、商業施設Blue Mallと一体となったタワービル内にあり、客室数は150。タワー8階部分までがホテル、それより上階は4,500万米ドルかけてオフィスビルとなる。

(5) 韓国企業の投資関心

21日、当地エンバハドールホテルにおいて、ドミニカ産業組合（AIRD）と大韓貿易投資振興公社（KOTRA）は、当国開発事業に投資関心がある韓国企業と当国中小企業のマッチングを行う会合を開催し、当国企業120社以上が参加した。現在韓国は、フリーゾーンに9社進出し、縫製業、プラスチック製品、スポーツ用品や段ボール等の製造に従事し、1,800名ほどの雇用を創出している。

(6) 電力

ア. 10日、ドミニカ電気連合会は、2014年8月第1週時点における政府の発電会社に対する負債額が8億1,800万米ドルに上り、発電会社の資金の流動性が失われていると警告した。

イ. 25日、ドミニカ・ビール製造会社は、ビール製造工程で排出される廃棄物を利用したバイオマス発電所の竣工式をメディーナ大統領出席のもと行った。450万米ドル投資して建設された発電所は、毎時12トンの飽和水蒸気を産出することで600キロワット発電する。

ウ. 26日、米州開発銀行と世界銀行のエネルギー分野の専門家は、当国電力問題に関して発電能力の増強は必要であるものの、配電と電力徴収能力強化を優先する必要があると訴えた。

(7) 国際関係

ア. 7日、米国国際開発庁（USAID）は、山火事を鎮圧するための機材1万米ドル相当を環境資源省に対して寄付した。

イ. 25日、Ping-Fu Hou 台湾大使は、環境資源省に対して山火事被害を受けた木材を伐採するための機材1万5千米ドル相当を寄付した。

ウ. 28日、当国バラオナ県（西部）のフリーゾーンパークにて縫製業に従事する韓

国資本の The Wilbes Dominicana 社は、工場を拡張し新たに3,000名を雇用すると発表した。

エ. 29日, 韓国国際協力団 (KOICA) は, 災害救助に使用する機材3万1,000米ドル相当を市民救助隊へ寄贈した。

オ. 29日, Balmir ハイチ観光大臣は, ハイチを訪問するドミニカ (共) 観光客を増加させるために初めてハイチ観光促進事務所をサントドミンゴに開設したと発表した。当国の他に, カナダ, フランス, 米国ニューヨークに開設する予定とのこと。

カ. 31日, 韓国農業技術支援センター (KOPIA) は, ドミニカ農畜産・林業調査機構 (IDIAF) がサン・フォアン・デ・ラ・マグアナ県において行っている輸出用野菜の温室栽培事業に対して技術支援を行う事に合意した。肥料改善並びに野菜の病害虫被害の診断等を主な支援対象として3年間で12万米ドルの投資を行う。

(8) 国際機関等

ア. 4日, 米州開発銀行 (BID) は, 0歳から5歳を対象とする幼児教育事業のために, 88万米ドルの寄付を行った。

イ. 8日, BID は, 交通事故による死亡者を削減するために50万米ドルの寄付を行った。当国は, 10万人当たり41.7人が交通事故により死亡する世界で2番目に死亡事故が多い国であり, 毎年7億米ドルの経済的損失が生じているとされる。

ウ. 26日, 国連開発計画 (UNDP) は, 「ラテンアメリカにおける社会階層構造」報告書を発表した。その報告書の中で2000年から2012年の間におけるラテンアメリカ18ヶ国の中間層の成長率を示しているが, 当国はマイナス3.7%と18ヶ国中一番中間層が減少し貧困層が拡大する国となった。

(別添1) 経済指標

(別添2) 疾病発生状況

(了)